

令和元(2019)年度社会福祉法人あかつき福祉会

事 業 報 告 書

社会福祉法人あかつき福祉会



あかつき福祉会の1年 - 令和元(2019)年度 -

2019年4月



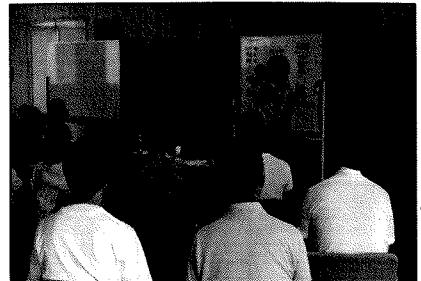
日帰りバスツアー(城崎)
<支援センター>

5月



春の所外活動(ニフレル)
<あかつき園・ワークセンター>

7月



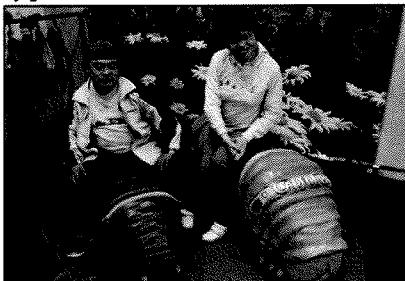
職員研修(他法人と合同)

8月



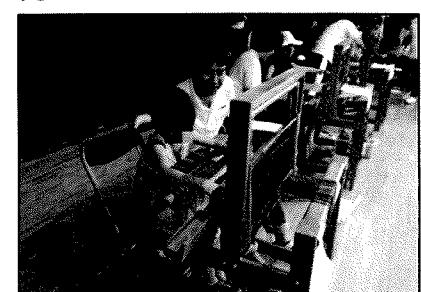
サツマイモ苗植え(せいなん幼稚園
の皆さんと)<あかつき園・ワークセンター>

10月



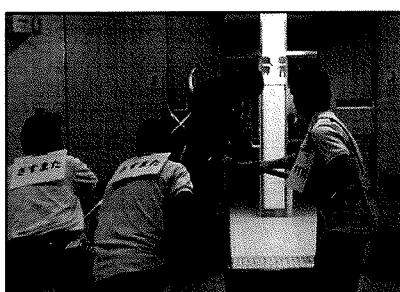
ボランティア演奏会(ささゆり園)<
あかつき園・ワークセンター>

8月



西南ジャンボリー(さり体験会)
<あかつき園・ワークセンター>

2019年8月



防犯訓練

12月



もちつき大会(箕面保育園の皆さんと)
<ささゆり園>



いちごの苗植え(西南小学校の皆
さんと)<あかつき園・ワークセンター>

2020年1月



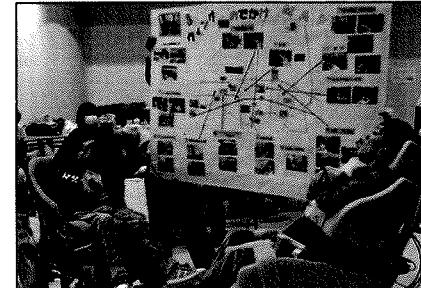
グループホーム新年会<支援センター>

2月



救急救命訓練

3月



年度末報告会<ささゆり園>

1. 令和元(2019)年度全体概要報告

(1) 次期指定管理施設の継続運営に向けた対応

【法人本部(総務課)】

ささゆり園の令和2~6年度までの次期指定管理者の募集が9月に出され、事業計画や収支見込等を検討したうえで応募した結果、次期指定管理者に選定された。あかつき園・ワークセンターささゆりについては、現指定管理期間をさらに2年間（令和2・3年度）延長することとなった。

(2) 新規市立施設の指定管理者への応募

【法人本部(総務課)】

令和4年度開設予定のワークセンター小野原（仮称）について、令和4~13年度までの指定管理者の募集要項が11月に示され、事業計画や収支見込等を検討したうえで応募したが、他法人が指定管理者に選定された。

(3) ショートステイ事業の廃止

【地域生活総合支援センター】

短期入所事業及び日中一時支援事業は令和元年8月9日付けで事業休止、同月31日付けで事業廃止した。

(4) 日中サービス支援型共同生活援助事業への移行

【地域生活総合支援センター】

入居者の高齢化への対応とグループホームの安定運営を図るため、第5・6つながりの家について、日中サービス支援型共同生活援助事業への事業移行を行った。

(5) 居宅介護の派遣時間の大幅増

【地域生活総合支援センター】

第10つながりの家の365日運営への移行により、入居者の個別の利用日数が増加したことを受け、休日の身体介護が増加した。また、第4・5・6・7つながりの家において、利用者の高齢化に伴う身体介護サービスを段階的に増加させた。これらにより、身体介護における年間の派遣時間は3,602.5時間（前年度比1,487時間増）となった。

【令和元(2019)年度実施事業等】

1. 法人本部(総務課)

2. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり<指定管理>

【実施事業】①生活介護事業 定員 70名
②就労継続支援B型事業 定員 10名

3. わんすてっぷ

【実施事業】生活介護事業 定員 15名

4. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<指定管理(④を除く)>

【実施事業】①園管理運営事業
②生活介護事業 定員 20名
③施設入浴サービス事業
④社会福祉増進事業

5. 地域生活総合支援センター

【実施事業】①共同生活援助事業

(第2つながりの家)

②短期入所・日中一時支援事業 [令和元年8月まで]

(箕面市障害者ショートステイ室)

③居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業
(ヘルパーステーション「ウイズ」)

④相談支援事業

(ウイズ)

2. 法人本部（総務課）

(1) 概要

- ささゆり園の令和2～6年度までの次期指定管理者の募集要項が9月に示され、事業計画や収支見込等を検討したうえで応募した結果、次期指定管理者に選定された。
- あかつき園・ワークセンターささゆりについては、さらに2年間（令和2・3年度）現指定管理期間を延長することとなった。
- 令和4年度開設予定のワークセンター小野原（仮称）について、令和4～13年度までの指定管理者の募集要項が11月に示され、事業計画や収支見込等を検討したうえで応募したが、他法人が指定管理者に選定された。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計画	実施結果
1	収支状況の改善	○ささゆり園では年度途中に2名の利用者が亡くなられたが、3名の新規利用を確保したことにより、利用契約者数は前年度比で1名増（23名）となった
2	会計事務チェック体制の継続	○平成26～30年度に引き続き、監査法人による「自主監査」（府社協実施事業）を受審した。また、日常的な経理事務処理に関して税理士事務所によるチェックを定期的に受けた。 ○1月に箕面市広域福祉課による定期の指導監査を受けた。
3	重度障害者のための生活介護事業所整備構想への対応	○令和4年度開設予定のワークセンター小野原（仮称）について、令和4～13年度までの指定管理者の募集要項が11月に示され、事業計画や収支見込等を検討したうえで応募したが、他法人が指定管理者に選定された。
4	長期計画の実行	○四半期ごとに長期計画プロジェクト会議を開催して、計画の進捗管理を行った。また、会議を通して取り組みの微調整を行なながら計画の実行に向けて取り組んだ。
5	次期指定管理施設の継続運営に向けた対応	○ささゆり園の令和2～6年度までの次期指定管理者の募集が9月に出され、事業計画や収支見込等を検討したうえで応募した結果、次期指定管理者に選定された。 ○あかつき園・ワークセンターささゆりについては、現指定管理期間をさらに2年間（令和2・3年度）延長することとなった。
6	防災・防犯対応の強化	○瀬川地区では11月と2月に避難訓練を実施し、11月の避難訓練時には箕面市消防本部と連携した消防訓練を実施した。 ○ささゆり園では9月と1月に避難訓練を実施し、9月は消防署と連携した消防訓練を実施し、1月は全市一斉防災訓練に合わせて中小学校までの避難訓練を行った。 ○瀬川地区・ささゆり園それぞれにおいて、10月に箕面警察署の協力のもと、施設への不審者侵入を想定した実践的な防犯訓練を行った。 ○瀬川地区・ささゆり園それぞれにおいて、2月に箕面消防署の指導のもと救急講習を実施し、計43名の職員が参加し人工呼吸やAED操作について学んだ。
7	職員確保	○ハローワークの求人や合同説明会への出展、インターネット媒体の活用等、継続的に人材募集を行ってきた結果、支援職員5名、臨時職員5名を採用することができた。
8	組織風土改善、人材育成	○平成27年度より「組織風土改善・人材育成プラン」に基づく運用をしてきたが、現状に即して第2版への改定を行った。 ○7月に伝え方の向上をテーマにした正規職員研修を他法人とも合同で実施し、当福祉会から職員19名、他の3法人からも計7名が参加した。 ○全職員を対象に7月に組織風土診断アンケートを実施するとともに、最も評価の高かった部門において自己分析を行い、その結果を法人内で共有した。

9	虐待防止・サービス向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ヒヤリハット事例を多く拾い上げられるよう、ヒヤリハット報告書式の見直しを行ったところ、ヒヤリハットの件数は355件（前年度217件）となり、事故件数は64件（前年度83件）となった。 ○虐待防止・サービス委員会を年2回開催し、虐待防止及び提供するサービス向上に向けた取り組みに関する検討を行った。 ○法人全体で虐待防止をテーマとしたケーススタディ式の人権研修を12月から1月にかけて実施し、計113名が受講した。 ○日頃の支援を客観的に振り返るセルフチェックを2回（8月・2月）実施し、その結果のフィードバックを行った。 ○3月に瀬川地区・ささゆり園において、PCAGIP法を活用した事例検討会を実施し、計29名が参加した。
---	-------------	---

(3) 今後について

- 指定管理の2施設において第三者評価を受審するとともに、その評価結果を踏まえ、サービスの質のさらなる向上につなげていく。
- 事業運営の方向性について検討を進め、自主事業の割合拡大に向けた取り組みを行っていく。
- 最終年度となる長期計画の進捗確認を行うとともに、次期の長期計画の策定を進めていく。

(4) 理事会・評議員会等開催状況

理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和元年 6月 6日 案件 = 平成30(2018)年度決算 など ・第2回 令和元年 6月21日 案件 = 理事長選任 など ・第3回 令和元年 7月31日 案件 = グループホームの事業移行 など ・第4回 令和元年10月 1日 案件 = 次期指定管理者応募 など ・第5回 令和元年12月16日 案件 = 新規施設の指定管理者公募への対応 など ・第6回 令和 2年 3月30日 案件 = 令和2(2020)年度事業計画及び予算 など
評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和元年 6月21日 案件 = 平成30(2018)年度決算 など ・第2回 令和元年12月13日 案件 = 役員解任及び選任
運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和元年 6月 5日 案件 = 平成30(2018)年度決算 など ・第2回 令和元年 7月26日 案件 = グループホームの事業移行 など ・第3回 令和元年 9月27日 案件 = 次期指定管理者応募 など ・第4回 令和元年12月13日 案件 = 新規施設の指定管理者公募への対応 など ・第5回 令和 2年 3月26日 案件 = 令和2(2020)年度事業計画及び予算 など

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり <就労継続支援B型事業>

(1) 概要

- 箕面市指定ゴミ袋の製造作業の工程変更に伴い、利用者一人ひとりの状況に合わせて、作業方法の見直しや補助具の作成等を行った。
- 多様な働く機会や社会生活に必要な経験の提供するため、箕面市障害者事業団体験実習を実施し、花壇管理、植物リース、接客に係る作業に4名が延べ50日間（前年度3名・延べ38日間）が参加した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計画	実施結果
1	利用率向上、収入増に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none">○新規利用は1名で、平均利用率は前年度より4.4%上昇した。○訓練給付費等収入は約92万円（前年度比8.5%）増加した。
2	効率的な送迎サービスの検討	<ul style="list-style-type: none">○利用者間の相性や利用者の障害特性に配慮しつつ、送迎ルートの見直しなどを行った。○自力通所していた利用者1名について、家族からの要望等により、年度途中に送迎サービスの利用を開始した。
3	工賃拡大に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none">○箕面市指定ゴミ袋の製造作業の作業工程変更に伴い、利用者一人ひとりの状況に合わせて、作業方法の見直しや補助具の作成等を行った。○定期的な清掃作業に取り組むとともに、除草等の農園作業にも取り組んだ。
4	虐待防止・再発防止の取り組み	<ul style="list-style-type: none">○日々の支援を振り返るための虐待防止チェックリストに基づくセルフチェックを8月と2月に実施した。○12月に法人全体で開催した人権研修に6名の職員が参加し、グループワークを通して虐待防止について考える機会を設けた。
5	多様な働く機会や社会生活に必要な経験の提供	<ul style="list-style-type: none">○箕面市障害者事業団体験実習を実施し、花壇管理、植物リース、接客に係る作業に4名が延べ50日間（前年度3名・延べ38日間）が参加した。
6	指定管理者アンケート、府社協福祉サービス第三者評価、施設サポートサービス結果を踏まえた対応	<ul style="list-style-type: none">○西南小学校等8団体、延べ182名の見学を随時受入、来所者アンケートを計11回実施した。○チーム別懇談会を6月と2月に実施し、日中活動の様子を見てもう機会を設けた。○障害特性に応じた支援を行うため、専門家の助言・指導（作業療法士2回/月、臨床発達心理士1回/月、嘱託医1回/月）を受けて、支援の随時改善等を行った。○自分たちの支援のあり方を見直し、サービス向上につなげるため、箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり内で他チームへの職員交流研修を実施した。
7	職員育成	<ul style="list-style-type: none">○利用者支援等に関する外部研修3講座に述べ3名が参加した。○箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり内の内部学習会を年7回実施して、職員の支援スキル向上を図った。

(3) 今後について

- 箕面市指定ごみ袋の製造及び配送作業、他事業所との作業シェアについて、引き続き関係団体とも調整しながら円滑に実施していく。
- 箕面市指定ゴミ袋の仕様変更に伴い、利用者一人ひとりに合わせた作業方法の見直し等の支援を継続的に進めていく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成30年度	令和元年度
箕面市指定ごみ袋の生産	94,976,756円	101,969,632円
館内清掃	100,000円	100,000円
計	95,076,756円	102,969,632円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃額(特別工賃を含んで換算)

	平成30年度	令和元年度	前年度比
就労継続支援B型	12,643円	13,237円	104.6%

②施設外支援

実習先	参加人数(実数)	参加延べ日数	職種
箕面市障害者事業団	4名	50日	緑化部門(花壇管理等)/4名・50日

③その他の活動

- 健康活動(ラジオ体操、ウォーキング、ダンス等)
- 創作活動(ペーパークラフト、手芸等)
- 社会活動(地域清掃、買い物、公共交通機関の利用、所外活動等)

(5) 在籍者状況(令和2年3月31日現在)

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和元年度	8名	29.1歳	11.1年	96.4%	7.7名
平成30年度	7名	29.4歳	11.6年	92.0%	7.2名

令和元年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	0名	0名	5名	3名	0名	0名

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり <生活介護事業>

(1) 概要

- 作業種の拡大を図るため、新たに指編み作業による製品の試行的生産・販売を実施し、約25千円の売上となった。
- 個別支援計画に基づく支援の要点の取りまとめを行い、障害の重度化に対する支援の強化に取り組んだ。
- 喀痰吸引研修を職員1名が受講し、利用者1名・延べ3行為の医療的ケアが実施できるようになった。これにより喀痰吸引等を実施できる生活支援員は7名となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

計画		実施結果
1	利用率向上、収入増に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none">○新規利用者は1名、移行等による退所が3名であった。○上半期の平均利用率は1.4%増だったが、下半期には体調不調による長期欠席者が3名出たこと、3月には新型コロナウイルス感染防止等のため自主休所者が7名出たことから、平均利用率は前年度と比べ1.8%低下した。
2	効率的な送迎サービスの検討	<ul style="list-style-type: none">○利用者間の相性や利用者の障害特性に配慮しつつ、送迎ルートの見直しなどを行った。
3	工賃拡大に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none">○さわり製品について継続的に生産・販売を行ってきたが、売上は169千円（前年度比53.3%）であった。○作業種の拡大を図るため、新たに指編み作業による製品の試行的生産・販売を実施し、約25千円の売上となった。
4	虐待防止・再発防止の取り組み	<ul style="list-style-type: none">○日々の支援を振り返るための虐待防止チェックリストに基づくセルフチェックを8月と2月に実施した。○利用者支援の現場からの意見も吸い上げながら、事例検討型の虐待防止研修を企画・実施した○12月に法人全体で開催した人権研修に41名の職員が参加し、グループワークを通して虐待防止について考える機会を設けた。
5	指定管理者アンケート、府社協福祉サービス第三者評価、大阪社福士会施設サポートサービス結果を踏まえた対応	<ul style="list-style-type: none">○西南小学校等8団体、延べ182名の見学を随時受入、来所者アンケートを計11回実施した。○家族参加型のイベントとしてチーム別懇談会を6月に実施し、日中活動の様子を見てもらう機会を設けた。なお、2月にも実施を予定していたが、新型コロナウイルスの感染防止のため中止した。○障害特性に応じた支援を行うため、専門家の助言・指導（作業療法士2回/月、臨床発達心理士1回/月、嘱託医1回/月）を受けて、支援の随時改善等を行った。○支援のあり方を見直し、サービス向上につなげるため、箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり内で他チームへの職員交流研修を実施した。
6	介護技術の標準化への対応	<ul style="list-style-type: none">○「利用者支援概要シート」（個別支援計画に基づく支援の要点など）や支援マニュアルの作成・更新を行うとともに、利用者の状況変化や支援の変更を職員間で共有した。
7	医療的ケアへの対応	<ul style="list-style-type: none">○看護師を中心に医療的ケアの実施について、情報共有を行い、安全な支援に努めた。○喀痰吸引研修を職員1名が受講し、利用者1名・延べ3行為の医療的ケアが実施できるようになった。これにより喀痰吸引等を実施できる生活支援員は7名となった。
8	職員確保・育成	<ul style="list-style-type: none">○利用者支援、チームマネジメント、業務管理、リスクマネジメント等に関する外部研修17講座に述べ24名が参加した。○箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり内の内部学習会を年15回実施して、職員の支援スキル向上を図った。○新規採用職員に対してOJTを行い、育成・定着に努めた。

(3) 今後について

- 障害の重度化へ対応するため、引き続き利用者ごとの支援の要点整理・更新を進めていく。
- 感染症や地震・水害等の災害時において、より適切な対応ができるように、家族や関係者との連携の仕方を検討していく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成30年度	令和元年度
箕面市指定ごみ袋の生産	4,080,000円	3,360,000円
さわり製品の生産・販売	317,620円	169,655円
指編み製品の生産・販売	0円	25,700円
ペットボトル、アルミ缶リサイクル等	118,091円	117,397円
農園芸	605,301円	625,355円
館内清掃	400,000円	400,000円
計	5,521,012円	4,698,107円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃(特別工賃を含んで換算)

平成30年度	令和元年度	対前年度比
3,552円	2,728円	76.8%

②その他の活動

- 健康活動（機能維持訓練、ダンス、プール、ウォーキング等）
- 日常生活・社会適応訓練（図書館利用、買い物、調理、喫茶、外食等）
- 創作活動（書道、手芸、季節の壁面飾り等）
- 文化活動（音楽療法、音楽活動、音楽・DVD鑑賞、演劇等）
- 社会活動（古切手の切り取り等）

(5) 在籍者状況（令和2年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和元年度	67名	30.2歳	11.5年	90.4%	61.8名
平成30年度	69名	29.2歳	10.6年	92.2%	63.7名

令和元年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	37名	20名	10名	0名	0名	0名

4. わんすてっぷ<生活介護事業>

(1) 概要

- 障害支援区分5・6の利用者の利用延べ人数割合が約70%となっており、介護の度合いが増した利用者に対し、サービス提供体制を整え、利用者の障害の状況に合わせた支援に努めた。
- 入院や家庭環境の変化、介護保険事業サービスへの変更に伴う長期欠席者が発生したことから、1日あたりの平均利用者数は11.2人（前年度比0.6人減）となった。介護給付費収入は前年度と比べ約190万円の減収となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計画	実施結果
1	事業の将来像の明確化	○自主事業割合の拡大に向けた検討を進め、わんすてっぷの増員・移転のための物件情報の収集を行った。
2	收支状況の改善	○入院や家庭環境の変化、介護保険事業サービスへの変更に伴う長期欠席者が発生したことから介護給付費収入は、約190万円の減収（前年度比94.3%）となった。
3	個別支援計画に基づく支援の実施	○介護の度合いが増した利用者の実態を踏まえて、支援要点を明らかにした計画を作成し、支援を実施した。
4	適切なサービス提供	○季節のイベントを16回提供した。 ○健康診断（年1回）や体重測定（月1回）、作業療法士相談（月1回）、看護師による健康確認・衛生管理（月1回）を実施した。 ○状態の変化の大きい利用者に対し、障害特性も踏まえて、複数職員で対応する等の支援を実施した。 ○ヒヤリハットを職員間で共有し安全管理を図るとともに、介護の度合いが増した利用者に対するサービス提供体制を整え、利用者の障害の状況に合わせた支援に努めた。
5	サービス等利用計画作成事業者（介護保険事業者含む）との連携	○事業者と情報提供や意見交換を図った。（グループホームの不安定な利用、独居形態からグループホームへの変更、排泄支援の方法など） ○介護保険サービスへの利用変更希望者1名に対し、柔軟に対応し、円滑に利用変更を行った。
6	職員確保・育成	○生活支援員の欠員が継続したため、必要に応じ他部署より応援職員を配置して対応した。

(3) 今後について

- 引き続き、利用者の状況に合わせたサービス提供、健康保持の取り組みを進めていく。
- 現状の課題についての整理を行い、自主事業として収支状況の改善を図れるよう、今後の事業のあり方を検討していく。

(4) 主な活動内容

- ①創作活動（手芸、折り紙、塗り絵、絵画、調理等）
- ②文化活動（買い物、音楽鑑賞、ビデオ鑑賞、カラオケ、Wii、オセロ等）
- ③健康活動（健康診断、体重測定、ストレッチ、ウォーキング、筋力トレーニング、健康観察、血圧・脈拍測定等）
- ④心身を整えるための活動
(手浴・足浴、爪切り、リラックス、アロマテラピー等)
- ⑤専門職による相談・指導
(作業療法士・嘱託医への相談、看護師による足爪切り、ダンス指導等)
- ⑥所外活動
(外食、ショッピングモール、カラオケ、カップヌードルミュージアム等)
- ⑦イベント(流しそうめん、かき氷、演奏会、クリスマス会、節分会等)

(5) 在籍者状況（令和2年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和元年度	14名	53.4歳	15.7年	74.6%	11.2名
平成30年度	15名	53.5歳	14.7年	78.7%	11.8名
令和元年度利用者 障害支援区分	区分6 2名	区分5 7名	区分4 4名	区分3 1名	区分2 0名
					区分1 0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<園管理運営事業>

(1) 概要

- 前年度に引き続き、箕面保育園の年長組園児27名及び職員3名の計30名を招き、障害者やバリアフリーについて考えてもらうため福祉車両や車椅子の見学・乗車体験を12月に実施した。さらに、生活介護事業の利用者との餅つき大会や園児の合唱の鑑賞などの交流を行った。
- 3月6日に「わかりやすく学ぶ成年後見制度（ミニセミナー＆寸劇）」と題し、一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター大阪府支部から講師を招いての講演会「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催する予定であったが、新型コロナウィルス感染防止のため、開催中止となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計画	実施結果
1	既存8事業見直し協議・対応	○ささゆり園内部の協議に留まり、箕面市との具体的な協議までには至らなかった
2	施設利用基準のあり方を検討・協議	○多様な目的での施設利用が増えているため、利用を許可する要件である「福祉活動への利益供与」の基準について箕面市に確認を行ったが、明確な基準はないため、引き続きの検討課題となった。
3	障害者等の理解促進に係る啓発事業の実施	○前年度に引き続き、箕面保育園の年長組園児27名及び職員3名の計30名を招き、障害者やバリアフリーについて考えてもらうため福祉車両や車椅子の見学・乗車体験を12月に実施した。さらに、生活介護事業の利用者との餅つき大会や、園児の合唱の鑑賞などの交流を行った。 ○3月6日に「わかりやすく学ぶ成年後見制度（ミニセミナー＆寸劇）」と題し、一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター大阪府支部から講師を招いての講演会「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催する予定であったが、新型コロナウィルス感染防止のため、開催中止となった。 ○箕面市及び箕面市社会福祉協議会との共催事業として、要約筆記講習会（2コース：手書きコース、パソコンコース）を延べ9回開催し、受講者8名が修了された。

(3) 今後について

- 障害者社会参加事業（茶道教室・華道教室）やボランティア育成事業等（手話講座、音訳講習会、要約筆記講習会）について、より参加者を増やしていくための方法等を検討し、事業の充実を図っていく。
- 施設老朽化への対応や中庭の活用について、箕面市と協議しながら改修等の対応を図っていく。

(4) ささゆり園利用状況

	平成30年度	令和元年度		対前年度比
開館日数	317日	315日		99.4%
利用件数	1,662件	1,623件		97.7%
利用件数／日	5.2件	5.2件		100.0%
利用者数	22,194名	23,368名		105.3%
利用者数／件	13.4名	14.4名		107.5%
利用者数／日	70.0名	74.2名		106.0%

事業名	平成30年度		令和元年度		対前年度比 (人数比)
	件数	人数	件数	人数	
障害者社会参加促進事業	41	345	35	269	78.0%
[内訳]	①茶道教室	22	205	18	70.7%
	②華道教室	19	140	17	88.6%
ボランティア育成事業	56	758	55	752	99.2%
[内訳]	①手話講習会「入門・基礎課程」	36	480	32	87.1%
	②初級音訳講習会 <令和元年度：中級>	11	83	9	90.4%
	③要約筆記講習会	9	195	14	132.8%
啓発事業（障害者問題市民講座）	1	42	0	0	0%
貸館事業	1,564	21,049	1,533	22,347	106.2%
[内訳]	①障害者団体	711	12,248	739	13,786
	②ボランティアサークル	467	4,895	435	4,624
	③外郭・行政関係	141	2,327	159	2,656
	④その他	213	1,547	169	1,250
	⑤ＩＴ室	32	32	31	31
合計	1,662	22,194	1,623	23,368	105.3%

※会議室等使用団体数(令和2年3月31日現在)

- 定期利用団体：39団体（対前年度比2増）
- 随時利用団体：18団体（対前年度比14減）
- 【合計】 57団体（対前年度比12減）

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<生活介護事業>

(1) 概要

- 新規利用者を含めてより多くの利用者に医療的ケアを実施するため、喀痰吸引研修(実地研修)を6~9月にかけて実施した。職員10名が受講し、新たに利用者7名・延べ74行為の医療的ケアが実施できるようになった。
- 複数年で計画する宿泊旅行は、1年間の指定管理延長期間中には実施できないため、日帰り旅行を計画し5グループに分けて実施した。
- 年度途中に2名の利用者が亡くなられたが、3名の新規利用を確保したことにより、利用契約者数は前年度比で1名増(23名)となった。その一方、入院加療等で7名の利用者が1ヵ月以上休所したことから、前年度比で平均利用率は0.5%減少し、介護給付費は約250万円減収となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計画	実施結果
1	介護給付費収入の安定的確保	○年度途中に2名の利用者が亡くなられたが、3名の新規利用を確保したことにより、利用契約者数は前年度比で1名増(23名)となった。その一方、入院加療等で7名の利用者が1ヵ月以上休所したことから、前年度比で平均利用率は0.5%減少し、介護給付費は約250万円減収となった。
2	延長支援の実施	○前年度より引き続き、個別支援計画に基づき生活介護の延長支援を男性4名、女性2名について実施した。また延長支援の時間を活用し、嚥下機能トレーニング等も実施した。
3	多様な活動支援の検討・実施	○複数年で計画する宿泊旅行は、1年間の指定管理延長期間中には実施できないため、日帰り旅行を計画し5グループに分けて実施した。(大阪市立科学館、キリンビール神戸工場、京都鉄道博物館)
4	入浴支援体制の見直し	○日中活動に重点を置き入浴サービス開始時間等を隨時調整した。 ○週3日勤務の短時間従事者1名(男性)を確保し、入浴支援専属とした。
5	介護職による喀痰吸引等の実施	○新規利用者を含めてより多くの利用者に医療的ケアを実施するため、喀痰吸引研修(実地研修)を6~9月にかけて実施した。職員10名が受講し、利用者7名・延べ74行為の医療的ケアが実施できるようになった。 ○上記研修実施により、生活支援員15名全員が喀痰吸引等を実施できるようになった。
6	重度重複障害者の地域生活に係る調査研究	○医療型短期入所を実施している大阪刀根山医療センターの担当者より、重症心身障害者の障害福祉サービスに関する情報収集を行った。
7	医療的ケアの必要な利用者の地域生活支援検討	○短期入所を利用できる施設が近隣にないと医療的ケアの必要な利用者・家族からの声を受け、医療型短期入所を実施している大阪刀根山医療センターの担当者を、11月の家族交流会に招いて情報提供を行った。
8	指定管理者アンケート結果を踏まえた対応	○アンケート結果を踏まえて、利用者家族との定期的な交流会(年4回)を行った。
9	感染症対策	○今年度も感染制御ラウンド(実地指導)及び感染症防止研修会を6月に開催して16名の職員が受講し、感染症防止知識の向上を図るとともに設備改善・環境整備等のハード面の改善も行った。
10	職員確保	○運転手・添乗職員の確保が困難な状況が続いたが、継続的に募集を行い、年度末までに運転手2名・添乗職員1名を確保できた。 ○常勤の看護師を2名体制とし、医療的な支援体制の充実を図った。
11	介護技術の標準化への対応	○利用者個別の医療的ケアマニュアルや機能訓練手順マニュアルについて、主治医の指示書や利用者の状況に応じて修正した。
12	腰痛予防対策	○介護前体操の実施、移動式リフト・スライディングシート等の導入により腰痛予防対策を行った。

13	地域への情報発信、交流	○ブログの更新を年間で計17回行った。 ○2組の新たな音楽ボランティアによる演奏会を、7月と8月に開催した。 ○12月に餅つき大会を開催し、箕面保育園の年長園児及び職員の計30名と交流を行った。
----	-------------	---

(3) 今後について

- 利用者・家族の高齢化が進むなか、利用者が地域で安定した生活が送れるよう相談支援事業所等との連携強化等、支援ネットワークの構築に取り組んでいく。
- 引き続き感染制御ラウンド（実地研修）及び感染症防止研修会を実施し、感染症対策を充実させていく。
- 経営の安定化に向けて、新規利用契約者の確保、利用率の向上に取り組んでいく。

(4) 主な活動内容

- ①健康活動（バイタルチェック、ストレッチ、手浴・足浴等）
- ②機能訓練（作業療法士による訓練指導、エクササイズ等）
- ③創作活動（季節を感じる創作、さをり織り、組紐等）
- ④園外活動（買い物、図書館、ドライブ、大学学園祭等）
- ⑤音楽活動（音楽鑑賞、カラオケ、楽器演奏、中学校吹奏楽部演奏会等）
- ⑥ゲーム活動（ボッチャ、ボーリング、時限爆弾ゲーム等）
- ⑦イベント（宿泊旅行、日帰り旅行、バーベキュー大会、年度末イベント等）

(5) 医療的ケアの実施状況（令和元年度利用対象者13名）

内 容		人 数
たんの吸引	口腔内	8名
	鼻腔内	6名
	気管カニューレ内部	7名
経管栄養	胃ろう	6名
	腸ろう	3名
	経鼻胃管	2名

内 容		人 数
経管による与薬	胃ろう	2名
	腸ろう	0名
	経鼻胃管	2名
吸入		1名
ブジー		1名
酸素投与(緊急時含む)		2名
人工呼吸器管理		3名
合 計 (延べ人数)		43名

(6) 在籍者状況（令和2年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和元年度	23名	43.2歳	10.0年	85.0%	16.0名
平成30年度	22名	41.5歳	10.2年	85.5%	16.3名

令和元年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	19名	4名	0名	0名	0名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<施設入浴サービス事業>

(1) 概要

- 機械浴槽の老朽化に伴い、箕面市との協議のうえ1台を更新した。
- 利用契約者数は11名で年間を通して変動はなかった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計画	実施結果
1	事業の方向性を協議	○機械浴槽の老朽化に伴い、箕面市との協議のうえ1台を更新した。
2	新規利用者の募集、確保	○利用契約者数は11名で年間を通して変動はなかった。 ○在宅での入浴支援（ヘルパー利用、移動入浴等）の利用を勧める対応を行った。
3	サービスの質的向上	○入浴ヘルパーは男性1名、女性2名を確保した。
4	職員確保と支援サービスの質的向上	○当該入浴ヘルパーだけで対応できない時は、生活介護事業の職員で対応した。

(3) 今後について

- 引き続き登録ヘルパーの確保に取り組んでいく。
- 入浴サービス利用の基準について、引き続き箕面市と協議を行っていく。

(4) 施設入浴サービス利用状況

	平成30年度	令和元年度	対前年度比
実施日数	243日	240日	98.8%
利用者数	642名	636名	99.1%
利用者数／日	2.6名	2.7名	103.8%

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<社会福祉増進事業>

(1) 概要

- 大阪府登録喀痰吸引等研修機関として、実地研修及び修了申請事務を実施した。
- 令和元年度の修了者数は、延べ44名（全員が当福祉会職員）であった。

6. 地域生活総合支援センター<共同生活援助事業>

(1) 概要

- 第10つながりの家において、家族の高齢化への対応と利用日数増を図るために、8月より365日運営を開始した。
- 高齢化や障害特性から現ホームでの生活に支障が出てきた入居者4名について、より適切な環境のホームへ転居を行った。
- 入居者の高齢化への対応とグループホーム（GH）の安定運営を図るため、第5・6つながりの家について、日中サービス支援型共同生活援助事業への事業移行を行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計画	実施結果
1	利用率向上に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none">○第10つながりの家を8月より365日運営とした。これにより、365日運営は9ホーム中5ホームとなった。○第2・3・8・9つながりの家において祝前日運営を計4日行い、延べ37名が利用した。
2	GH整備計画の検討	<ul style="list-style-type: none">○入居者の高齢化への対応とグループホーム（GH）の安定運営を図るため、第5・6つながりの家について、日中サービス支援型共同生活援助事業への事業移行を行った。○各ホームの集約化について検討し、物件探しを行った。
3	入居者の高齢化・重度化への対応	<ul style="list-style-type: none">○引き続き、これまで家族が担っていた通院を通院等介助に移行し、ヘルパー対応にシフトした。（平成30年度20名→令和元年度21名）○GHにおける個別でのホームヘルパーの利用推進を図り、新たに9名の支給が認められ、計16名となった。○長期連休にGH利用を勧めたことで、5月GWや年末年始における1日あたりの平均利用者数は10.7名（前年度比2.6名増）となった。○高齢化や障害特性から現ホームでの生活に支障が出てきた入居者4名について、より適切な環境のホームへ転居を行った。
4	余暇支援の充実	<ul style="list-style-type: none">○余暇活動計画や個別支援計画に基づき移動支援を年間で262件実施した。○GHごとにバスツアーやカラオケ等の余暇支援を年1回以上実施した。また、個別支援計画に基づき、利用者一人ひとりの余暇の充実（読書、ゲームなど）を図った。
5	建て貸しGHの安定運営	<ul style="list-style-type: none">○平成31年3月に第5・6・10つながりの家を建て貸しGHに移転し順調に運営できた。また、集約化によって安定的な人員配置を図ることができた。
6	職員確保・育成	<ul style="list-style-type: none">○箕面市障害者ショートステイ室を令和元年8月に廃止したことに伴い、その一部人員をGHへ異動し充足を図るとともに、OJTを実施し職員の育成を行った。○世話人会議の場を利用して、部門内研修やヒヤリハットの検証・分析を行った。
7	サービス管と世話人の連携強化	<ul style="list-style-type: none">○前年度に続き、サービス管理責任者の月1回以上のグループホーム訪問や電話やメールでの連絡を継続的に実施した。

(3) 今後について

- 新規事業である日中サービス支援型共同生活援助事業（第11つながりの家）の安定運営に取り組んでいく。
- 入居者やその家族の高齢化に対応するため、残り4ホームについても必要に応じて365日運営を見据えて運営日数の増加を図っていく。
- 既存GHの欠員（令和元年度末現在2名）について入居者の募集を行い、定員の充足を図っていく。
- 相談支援事業所や後見人等と連携しながら、入居者やその家族の高齢化の状況に応じたサービスへと繋げていく。

(4) 在籍者状況（令和2年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均利用率	平均利用人数
令和元年度	34名	46.9歳	82.9%	28.2人
平成30年度	35名	47.0歳	81.6%	29.0人

令和元年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	5名	12名	9名	6名	2名	0名

6. 地域生活総合支援センター

〈居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業〉

(1) 概要

- 居宅介護では、GH利用者4名に対し身体介護（入浴）の提供を開始したことなどにより、年間の派遣時間は3,602.5時間（前年度比1,487時間増）となった。
- 移動支援では、GH利用者に対する余暇支援や買い物支援等の派遣を増加させた。しかし、台風や新型コロナウイルスの影響が懸念される時期は安全を最優先して派遣を見合わせたこともあり、年間の派遣時間は2,465.5時間（前年度比10.5時間減）となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計画	実施結果
1	GHにおける余暇支援の充実（移動支援の拡大）	<ul style="list-style-type: none">○GH利用者へのヘルパー派遣（休日の個別活動、グループでのイベント参加、年末年始の外出）を行った。○GH365日利用者の余暇支援の充実のため、買い物等の社会活動に派遣を拡大した結果、派遣回数は468回（前年度比90回増）となった。○台風やコロナウイルスの影響が懸念される時期は安全を最優先して派遣を見合わせたこともあり、年間の派遣時間は2,465.5時間（前年度比10.5時間減）となった。
2	GHにおける居宅介護・通院等介助の充実	<ul style="list-style-type: none">○第10つながりの家の365日運営への移行により、入居者の個別の利用日数が増加したことを受け、休日の身体介護が増加した。また、第4・5・6・7つながりの家において、利用者の高齢化に伴い、身体介護サービスを段階的に増加させた。これらにより、身体介護における年間の派遣時間は3,602.5時間（前年度比1,487時間増）となった。○通院等介助の契約者は17名（前年度比2名増）となり、通院先を増やしたいとの既契約者の要望に対応した結果、年間の派遣時間は503時間（前年度比154時間増）となった。
3	入浴ヘルパーの派遣	<ul style="list-style-type: none">○短期入所事業に従事していた職員を、8月以降入浴ヘルパーとしてGHへ派遣することで、安定的な運営につなげた。
4	有資格従事者の確保・育成	<ul style="list-style-type: none">○男性2名、女性1名の有資格のヘルパーを確保した。

(3) 今後について

- 居宅介護では、引き続きGH利用者の通院ニーズ、入浴ニーズの把握に努め対応していく。
- 移動支援は、特に365日GHの利用者を中心に派遣の増加を図っていく。
- サービス提供責任者をさらに確保して、サービス提供可能時間を増やすことで安定的な事業運営を図っていく。

(4) ヘルパー派遣状況（令和2年3月31日現在）

単位：時間

	居宅介護				移動支援	
	通院等介助		身体介護	同行援護	I類	II類
	(身体介護なし)	(身体介護あり)			(身体介護なし)	(身体介護あり)
令和元年度	13.0	490.0	3,602.5	246.5	1,506.0	958.5
平成30年度	7.0	342.0	2,115.5	205.0	1,451.0	1,024.0

※地域生活総合支援センター＜短期入所・日中一時支援事業＞

(1) 概要

- 令和元年8月9日付で事業休止、同月31日付で事業廃止した。（令和元年度の箕面市の補助金はなし）

(2) ショートステイ室利用状況（令和元年8月9日まで）

	令和元年度		令和元年度
1日あたり宿泊者数	4.1名	短期入所延べ利用者数 (1日平均)	545名(4.2名)
延べ利用者数 (1日平均)	614名(4.7名)	日中一時延べ利用者数 (1日平均)	69名(0.5名)

6. 地域生活総合支援センター<相談支援事業>

(1) 概要

- 福祉サービスの利用、健康・医療、家族関係・人間関係に関する相談を含め、1,141件（前年度比78件増）の相談に対応した。
- 前年度に引き続き、2名体制で契約利用者105名に対して、継続的な支援を行った。
- 相談支援専門員資格に係る「現任研修」を2名が受講・更新した。また、今後も増加が見込まれる相談へ将来的に対応できるよう、新たに職員3名が「初任者研修」を受講した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計画	実施結果
1	計画相談支援体制の充実	○福祉サービスの利用、健康・医療、家族関係・人間関係に関する相談を含め、1,141件（前年度比78件増）の相談に対応した。
2	相談支援の質的向上	○箕面市自立支援協議会（相談支援部会）が開催する「ケース検討会」に検討事例を提供し、実事例に活かせるように対応した。
3	困難事例への対応	○福祉サービスの利用のなかった在宅の障害者市民1名への支援の結果、福祉サービスの利用に繋がった。 ○虐待事例（疑いも含む）に関しては、家族間の様子や日中活動先との情報共有のもと、適度な距離感を持てるようにサービス等の調整を行った。 ○家族の高齢化・入院等に伴い、家族に代わって関係機関と調整を図るケースは増加傾向にあり、引き続きその対応を行った。（継続的には4名）
4	相談支援専門員の確保・育成	○相談支援専門員資格に係る「現任研修」を2名が受講・更新した。また、今後も増加が見込まれる相談へ将来的に対応できるよう、新たに職員3名が「初任者研修」を受講した。

(3) 今後について

- 家族の高齢化・入院、家族関係等に伴い、家族に代わってのサービス利用調整や関係者間での連絡・調整が必要なケースについて、引き続き対応していく。
- 困難事例への対応については、箕面市自立支援協議会（相談支援部会）が開催するケース検討会にて事例を共有し、多様な観点からの支援策を検討していく。

(4) 相談状況（令和2年3月31日現在）

①相談経路別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
訪問	16	150	186	20	372
来所	0	80	68	2	150
同行	1	18	30	3	52
電話	5	236	250	30	521
電子メール	1	3	5	0	9
個別支援会議	0	10	5	0	15
関係機関	0	3	1	1	5
その他	0	11	5	1	17
合計	23	511	550	57	1,141

※児童の相談件数は0件

②相談内容別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
福祉サービスの利用	6	327	395	19	747
障害・病状の理解	1	18	20	6	45
健康・医療	5	50	41	8	104
不安解消・情緒安定	0	19	23	0	42
家族関係・人間関係	3	69	30	1	103
家計・経済	7	1	11	8	27
生活技術	1	15	5	0	21
就労	0	3	14	6	23
社会参加・余暇活動	0	6	1	0	7
権利擁護	0	0	3	6	9
その他	0	3	7	3	13
合計	23	511	550	57	1,141

※児童の相談件数は0件

7. 事故・苦情・ヒヤリハット等の状況

(1) 苦情解決システムに基づく対応

施設	苦情内容 (苦情受付経路)	対応結果
あかつき園・ワークセンターささゆり	利用者の救急搬送事案の発生に伴う、他の利用者への心理的ケアや家族等への情報の発信・共有について (苦情相談員)	事案発生当時、その場に居合わせた他の利用者への心理的ケアや、家族や他の利用者が入居するグループホーム世話人の情報共有について、当時の経過や今後の対応方法について、あかつき園・ワークセンターささゆり所長から苦情申出者に説明し、了解を得た。

(2) 事故・苦情・ヒヤリハットの取りまとめ状況

①事故

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
誤薬・誤飲	あかつき園・ワークセンターささゆり	2件	内容 与薬忘れ 原因 確認不足	与薬確認の徹底
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	4件	内容 与薬忘れ、誤薬 原因 確認不足	与薬確認の徹底
合計件数		6件		

怪我	あかつき園・ワークセンターささゆり	6件	内容 裂傷・打撲・擦過傷 原因 職員の不注意・利用者の状況把握不足、環境不備	安全配慮の徹底 環境整備
	わんすてっぷ	2件	内容 打撲、脳震盪 原因 利用者の状態把握不足 環境不備	安全配慮の徹底 環境整備
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	1件	内容 打撲 原因 環境配慮不足	安全配慮の徹底 環境整備
合計件数		9件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
他傷行為による怪我	あかつき園・ワークセンターささゆり	11件 (うち、職員に対するもの9件)	内容 蹴る・噛む・突き飛ばす 原因 安全配慮不足 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者的心的状態の適切な把握 安全配慮の徹底 環境整備 障害特性に関する支援スキルの向上
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	1件	内容 噛みつき 原因 利用者の状態把握不足	安全配慮の徹底 障害特性に応じた環境配慮
合計件数		12件		

自傷行為による怪我	あかつき園・ワークセンターささゆり	1件	内容 頭突き 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者的心的状態の適切な把握 安全配慮の徹底 環境整備 障害特性に関する支援スキルの向上
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	0件		
合計件数		1件		

器物損壊	あかつき園・ワークセンターささゆり	0件		
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	0件		
合計件数		0件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
無断外出	あかつき園・ワークセンターささゆり	1件	内容 一時的な所外への無断外出 原因 利用者の所在確認不足	利用者の心的状態の適切な把握
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	0件		
合計件数		1件		

車両事故	あかつき園・ワークセンターささゆり	12件	内容 対物接触 原因 確認不足	安全運転の徹底
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	5件	内容 対物接触 原因 確認不足	安全運転の徹底
	地域生活総合支援センター	0件		
合計件数		17件		

その他	(あかつき園・ワークセンターささゆり)	
	・おう吐に伴う緊急搬送	2件
	・車道への飛び出し	2件
	・送迎誤り	2件
	・利用者の非常ベル誤操作	1件
	・酸素ボンベの不十分な開栓	1件
	(ささゆり園)	
	・給食異物混入	2件
	・送迎車内での転倒	1件
	(地域生活総合支援センター)	
	・業務失念	2件
	・現金帳記載間違え	2件
	・利用者の予定間違え	2件
	・鍵の紛失	1件

②苦情

部署	件数	内容	原因	解決状況
あかつき園・ ワークセンターささゆり	5件	買物支援に関するもの 送迎車に運転に関するもの	利用者・家族との調整不足 運転手の認識不足	調整・連絡の徹底 安全運転の徹底
わんすてっぷ	1件	利用者の送迎に関するもの	担当者への業務伝達不足	業務伝達の徹底
ささゆり園	0件			
地域生活総合 支援センター	3件	利用者の送迎に関するもの 利用者・家族への対応について 通院等介助支援に関するもの	遅延連絡の不足 利用者・家族への配慮不足 調整・連絡不足	連絡の徹底 職員への研修、指導 調整・連絡の徹底
合計件数	9件			

③ヒヤリハット

部署	件数	内容	
あかつき園・ワークセンター ささゆり	224件	<ul style="list-style-type: none"> * 自傷行為・他傷行為に至る恐れがあった事案 * 器物破損の恐れがあった事案 * 怪我する恐れがあった事案 * 転倒・転落の恐れがあった事案 * 所在不明に繋がる恐れのあった事案 * 摘便・失禁に繋がる恐れがあった事案 * 交通事故に繋がる恐れがあった事案 * 服薬忘れに繋がる恐れがあった事案 * 異性の更衣室ドアを開ける恐れがあった事案 * 医療的ケアミスに繋がる恐れがあった事案 * 薬の管理方法を見直す必要があった事案 * 異食に繋がる恐れのあった事案 * 熱中症に繋がる恐れがあった事案 	153件 21件 12件 11件 11件 5件 3件 2件 2件 1件 1件 1件 1件 1件
わんすてっぷ	40件	<ul style="list-style-type: none"> * 転倒の恐れがあった事案 * 怪我する恐れがあった事案 * 所在不明に繋がる恐れがあった事案 * 他傷行為に繋がる恐れがあった事案 	27件 10件 2件 1件
ささゆり園	49件	<ul style="list-style-type: none"> * 身体症状に影響する恐れがあった事案 * 確認不足により事故等に繋がる恐れがあった事案 * 転倒の恐れがあった事案 * 物品忘れにより事故等に繋がる恐れがあった事案 * 誤飲・誤食・誤薬に繋がる恐れがあった事案 * 怪我する恐れがあった事案 * 器物破損の恐れがあった事案 	18件 11件 7件 7件 3件 2件 1件
地域生活総合支援センター	42件	<ul style="list-style-type: none"> * 誤薬・服薬忘れに繋がる恐れがあった事案 * 怪我する恐れがあった事案 * 転倒・転落の恐れがあった事案 * 現金帳の金額に誤差が生じる恐れがあった事案 * 誤飲食に繋がる恐れがあった事案 * 不適切な行為に至る可能性があった事案 * 他害行為に至る可能性があった事案 * 利用者の持ち物を紛失する恐れがあった事案 	12件 10件 6件 5件 4件 3件 1件 1件
合計件数	355件		

8. 地域参加・交流状況

(1) 納涼祭（主催：あかつき福祉会）

実施日： 8月30日（金）
実施場所： 瀬川地区敷地内
参加者数： 337名
協力団体： 7団体
利用者参加： 35名
職員従事者： 69名
内容： 盆踊り、ゲームコーナー、模擬店、抽選会など

(2) 西南ジャンボリー（主催：西南ジャンボリー実行委員会、西南小校区青少年を守る会）

実施日： 8月24日（土）
実施場所： 西南小学校体育館
体験者数： 89名
実行委員会： 2回実施
職員従事者： 7名
内容： さわり織り体験コーナー、指編み製品・さわり製品等の販売

(3) いきいきふれあい広場（主催：西南小地区福祉会）

実施日： 11月16日（土）
実施場所： 西南生涯学習センター
職員従事者： 8名
内容： 野菜、指編み製品・さわり製品等の販売

(4) 社協バザー（主催：箕面市社会福祉協議会）

実施日： 12月8日（日）
実施場所： 西南小学校体育館
職員従事者： 7名
内容： 野菜、指編み製品・さわり製品等の販売

9. 職員研修実施状況

(1) 法人全体研修

実施日	研修内容	参加者	講 師
平成31年 4月 4日 ～18日	入職時研修会	8名	当福祉会職員
令和元年 7月 6日	「伝え方の向上」研修 ※正規職員対象	19名	株式会社ひとまち 水田恵美氏
令和元年12月10日～ 令和 2年 1月22日	虐待防止に関するケース スタディ ※令和元年度人権研修	113名	当福祉会職員
合 計		140名	

(2) 事業・施設別研修参加状況

部署	平成30年度	令和元年度
法人本部	6名 (5件)	6名 (5件)
あかつき園・ワークセンターささゆり	34名 (12件)	27名 (17件)
わんすてっぷ	10名 (7件)	2名 (2件)
ささゆり園	43名 (15件)	47名 (15件)
地域生活総合支援センター	36名 (8件)	11名 (8件)
合 計	150名 (53件)	93名 (46件)

	研 修 内 容
法人本部	EPAに基づく外国人介護福祉士候補者の受け入れ、社会福祉法人の指導監査 自主点検支援事業説明会、効果的な採用活動研修、箕面市人権研修
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	福祉職員研修（初任者）、福祉職員研修（中堅職員）、サービスマナーセミナー（初級）、サービスマナーセミナー（中級リーダー）、介護職のための新人職員研修、給食施設における非常時の備え、てんかん基礎講座、障がい児者施設課程（主任クラス）、理念・価値観を分かち合う風土づくり、会計管理者・担当者研修会、栄養士・調理師研究会、成人施設課程（応用コース）、第三号喀痰吸引等研修、相談支援従事者研修、働き方改革と施設での対応ポイント、権利擁護研修、箕面市人権研修
わんすてっぷ	さまざまな人権問題に関する研修会、サービス管理責任者等更新研修
ささゆり園	防火管理責任者研修、交通安全管理者講習、喀痰吸引等研修、対人援助専門職講座、福祉職員研修（施設長等運営管理職員）、障がい等福祉従事者研修会、医療的ケア児等支援者養成研修、箕面市障害者虐待防止研修、大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修、相談支援現任研修、サービス管理責任者更新研修、福祉職員研修（OJTリーダー養成）、大阪府サービス管理責任者等更新研修、箕面市人権研修、感染防止研修
地域生活総合支援 センター	スウェーデンでの「重度の障害がある方のグループホームでの暮らし」、 サービスマナー・セミナー（初級クラス）、グループホーム世話人等研修、 近畿地区グループホーム等職員研修会、マッセ市民セミナー「社会福祉法人による地域貢献事業実践報告会」、権利擁護研修「重い障がいのある方の意思決定支援について」、相談支援従事者初任者研修、相談支援従事者現任研修

10. 実習生受入状況

(1) 進路支援に係る実習

施設・事業	実習元	実人数	延べ人数	延べ日数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面支援学校	3名	6名	6日	支援学校卒業後の進 路先の検討
ささゆり園	箕面支援学校	1名	1名	1日	支援学校卒業後の進 路先の検討
	合 計	4名	7名	7日	

(2) その他

施設・事業	実習元	実人数	延べ人数	延べ日数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面市	2名	3名	3日	福祉体験学習
	彩都の丘小学校	1名	2名	2日	福祉体験学習
	佛教大学	6名	30名	30日	社会福祉士実習
	追手門学院大学	1名	5名	5日	インターフィッシュ実習
	京都女子大学	2名	10名	10日	介護実習
	神戸海星女子学 院大学	1名	5名	5日	介護実習
わんすてっぷ	箕面市	6名	12名	12日	福祉体験学習
ささゆり園	箕面市	2名	4名	4日	福祉体験学習
	合 計	21名	71名	71日	

11. ボランティア受入状況

施設・事業	参加内容	参加回数	延べ参加者
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	日中活動	108回	204名
	イベント	8回	27名
わんすてっぷ	イベント	5回	20名
ささゆり園	イベント	14回	27名
	合 計	135回	278名

12. 観察・見学状況

(1) 受入状況

施設・事業	観察・見学元	人数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面支援学校	23名	卒業後の進路先の検討
	西南小学校（6年生）	127名	施設見学
	箕面市内の各中学校	17名	施設見学
	ウイズ	1名	利用者の状況確認
	まいんぐ（ヘルパーステーション）	2名	利用者の状況確認、施設見学
	箕面市	3名	施設見学
	シリーズ介護サービス	2名	利用者の状況確認
	光明の郷ケアセンター	1名	施設見学
ささゆり園	箕面支援学校	9名	卒業後の進路先の検討
	利用希望者・家族	10名	施設見学
	箕面保育園	30名	施設見学
	他施設職員	2名	施設見学
	ボランティア希望者	1名	施設見学
	就職希望者	11名	施設見学
	ワークセンター利用者	3名	施設見学
	合計	242名	

(2) 観察・見学実施状況

施設・事業	観察・見学先	人数	目的
ささゆり園	大阪市立科学館	3名	日帰り旅行下見
	京都市鉄道博物館	2名	日帰り旅行下見
	キリンビール神戸工場	2名	日帰り旅行下見
合計		7名	

13. 講師派遣状況

派遣先	件名	派遣講師
一般財団法人 大阪府地域福祉推進財団	サービス管理責任者等基礎研修	森山 健
箕面市肢体不自由児者父母の会	父母の会キャンプボランティア講習会	横山 広明

14. 役員名簿

(1) 理事

令和2年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
理事長	永田 吉治	箕面地区保護司会	会員	社会福祉事業経営の識見を有する者
理事	石田 良美	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会	会長	社会福祉事業経営の識見を有する者
理事	山口 慎太郎	箕面市民生委員児童委員協議会	会長	事業区域の福祉に通じる者
理事	吉田 功	元 箕面市職員		事業区域の福祉に通じる者
理事	村田 尚記	箕面市健康福祉部	副部長	事業区域の福祉に通じる者
理事	福田 寛久	社会福祉法人あかつき福祉会 わんすてっぷ	所長	施設管理者

(2) 監事

令和2年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
監事	寺内 勇	社会福祉法人翠明社	監事	社会福祉事業の識見を有する者
監事	齋藤 堅造	箕面市会計室	会計管理者	財務管理の識見を有する者

(3) 評議員

令和2年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
評議員	甲斐 節男	西南小地区福祉会	会員	地域の福祉関係者
評議員	下司 良一	一般財団法人箕面市障害者事業団	事務局次長	地域の福祉関係者
評議員	奥田 雅博	社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団 明光ワークス	所長	地域の福祉関係者
評議員	植田 恵美子	社会福祉法人息吹	理事長	社会福祉事業の経営者
評議員	木村 知也	箕面ロータリークラブ	プログラム委員長	地域の福祉関係者
評議員	筧 加代	社会福祉法人あおば福祉会 瀬川保育園	園長	社会福祉事業の経営者
評議員	今仲 徹	大阪府立箕面支援学校	教諭	地域の福祉関係者
評議員	樺原 淳子	箕面市肢体不自由児者父母の会	書記	地域の福祉関係者

(4) 評議員選任・解任委員会委員

令和2年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
評議員選任・解任委員会委員	寺内 勇	社会福祉法人翠明社	監事	監事
評議員選任・解任委員会委員	東 有希子	社会福祉法人あかつき福祉会 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり 地域生活総合支援センター	所長	事務局員
評議員選任・解任委員会委員	多田 育雄	NPO法人箕面ラポール	監事	外部委員

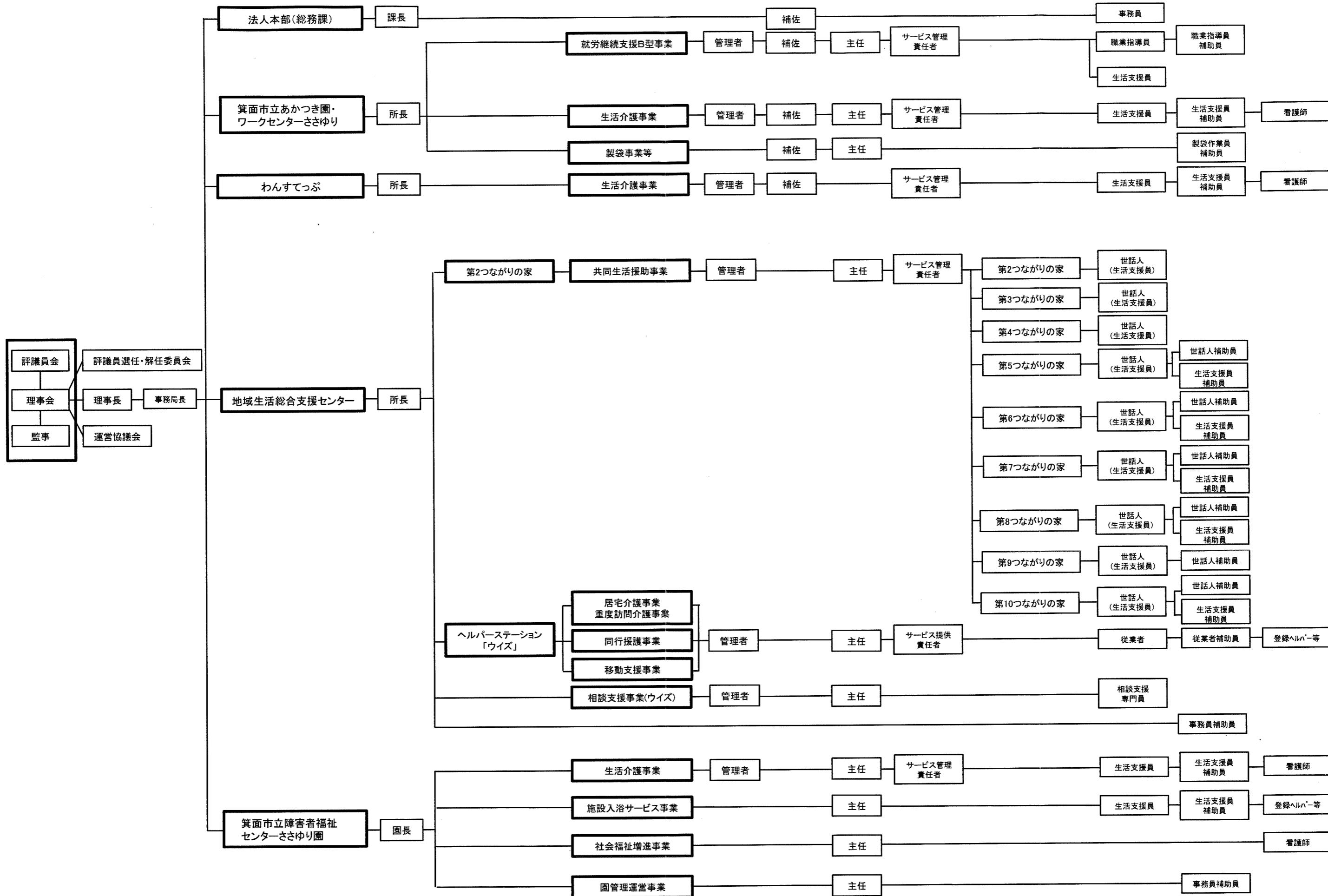
(5) 運営協議会委員

令和2年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
運営協議会委員	名渕 須和子	箕面手をつなぐ親の会	副会長	理事長が適當と認める者
運営協議会委員	羽藤 隆	箕面市身体障害者福祉会	副会長	理事長が適當と認める者
運営協議会委員	日根 真理	箕面市西南小校区青少年を守る会	会長	地域の代表者
運営協議会委員	平安 幸子	日本赤十字奉仕団（箕面）	団員	地域の代表者

15. 令和元(2019)年度組織図

令和2年3月31日現在



16. 令和元(2019)年度職員内訳

令和2年3月31日現在

部署	正規職員	支援職員	臨時職員	合計
法人本部	3名	3名	1名	7名
あかつき園・ワークセンターささゆり	10名	20名	32名	62名
わんすてっぷ	1名	2名	3名	6名
障害者福祉センターささゆり園	3名	6名	18名	27名
地域生活総合支援センター	4名	18名	12名	34名
合計	21名	49名	66名	136名

注1) 法人本部の支援職員には、障害者職員を含む

注2) あかつき園・ワークセンターささゆりには、製袋担当職員を含む

注3) 臨時職員数には、バス添乗等の短時間勤務職員を含む

注4) その他、登録ヘルパー約20名(実質稼働者数)